

令和5年度青森県医療的ケア児保育普及啓発フォーラム アンケート結果

【開催日時】 令和5年10月24日（火） 13:00～16:00

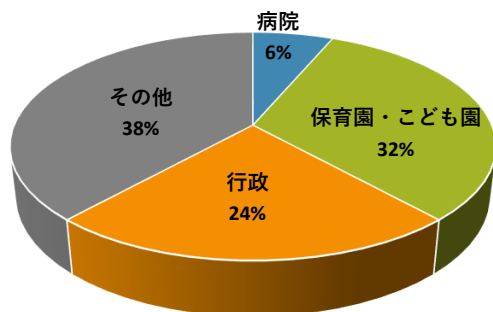
【会場】 県民福祉プラザ 4階 県民ホール

【参加人数】 60人

【回答者】 54人

【アンケート回収率】 90%

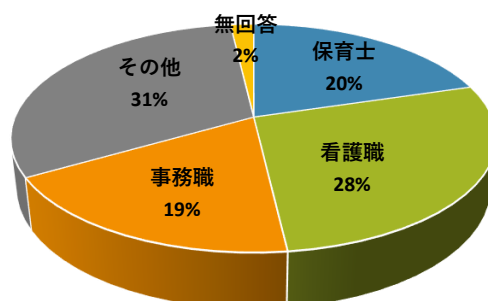
I 所属



▼その他所属

- 学校・大学
- 障害者支援施設
- 相談支援事業所
- 訪問看護ステーション
- 児童発達支援・放課後等デイサービス
- 市議会議員
- 福祉施設

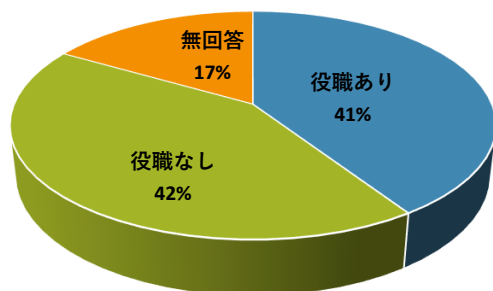
II 職種



▼その他職種

- 園長
- 教諭
- 施設長
- 相談支援専門員
- 子育て支援員
- 障害児相談支援員

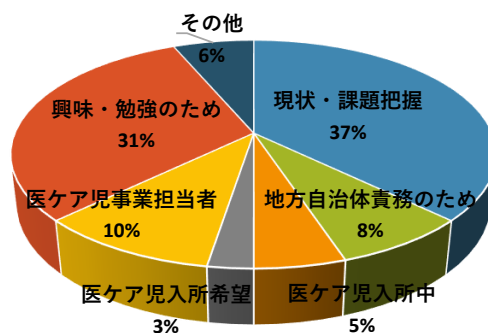
III 役職



▼役職名

- 園長
- 主幹保育教諭
- 相談支援専門員
- 理事長
- 管理者
- 副参事
- 課長
- 係長
- 主任
- 主事

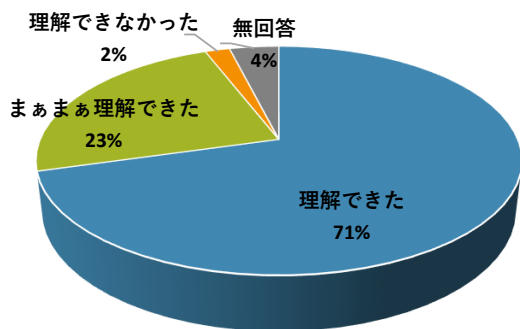
IV フォーラム参加の理由



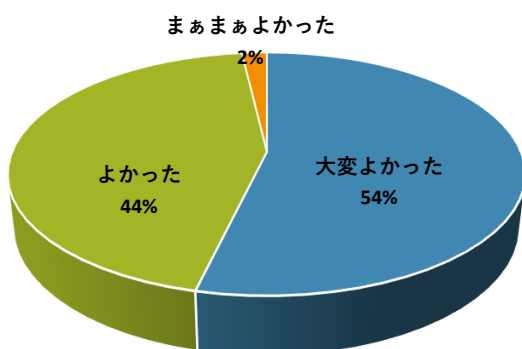
▼その他理由

- 園の事業拡大にあたり
- 医ケア児の保育受入推進していくため

V 県からの趣旨説明について



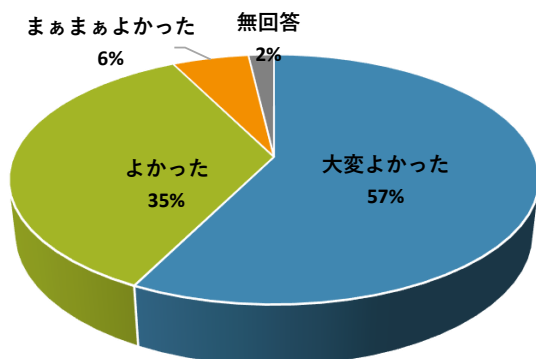
VI 基調講演について



▼よかった理由

- 初めて知ることばかりだったので、今日参加できて良かった。ただ、まだまだ受入問題が多いんだなと思ったのでもっとお話を聞きたい。
- とても良かった。詳しく知ることができた。
- 現状と今後の課題が分かりやすかった。
- もう少し時間があっても良かったと思う。医療的ケア児の現状と保育（遊び）の大切さを学ぶ事が出来たから。
- 様々な医ケア児の現状等について勉強できて良かった。
- 受入事例紹介が参考になった。
- 網塚先生の医ケア児に対する熱意にいつも自分の心が動かされています。
- 医ケア児が増加している現状、特に人工呼吸器を要する小児が増えていることを知ることができた。
- 具体的で事例をもとに、とても勉強になりました。
- いろいろな障害のお子さんがいて親御さんもそれぞれに大変です。医ケア児だけでなく対応できる障害のあるお子さん・親御さんの力になればと思います。
- 医ケア児が増加傾向にあり社会の認識が大きな課題になっていることを知ることができた。

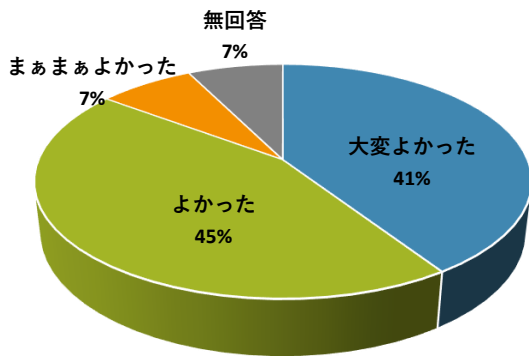
VII 県内の受け入れ事例について



▼よかった理由

- もう少し多くの事例をゆっくりみたかった。
- 多職種の視点からの事例紹介で、それぞれの受け入れまでの取り組みの苦労がわかりやすかった。
- 受入れにあたっての実際の課題を知る事が出来たから。
- 医療的ケア児と健常の子どもを区別することなく関わる姿勢に感銘を受けました。実際の受け入れ迄の流れや必要な体制と課題について参考になった。
- 具体的なお話が聞けたので良くイメージすることができた。受入れている園の問題・課題等を自園の状況と重ねて聞くことが出来、大変参考となった。
- 弘前市でも受入施設が増えるよう頑張りたい。
- 難しいなぁと思うが色々模索しながらやっていけたら良いと思う。
- 保育施設側でも医ケア児を受け入れたいと前向きに思ってくれているところがあると知れて良かった。
- 現状と課題、取り組みを知り良かった。
- 受入れ保育所・学校の具体的な取り組みが分かりやすく説明されて良かった。
- 各市町村における補助金等の壁が高い。県が何とかしてくれないとダメかな。
- 市町村や保育園での受け入れが分かりやすかった。
- 自治体内で事例がなく、初めて聞く話が多かった。

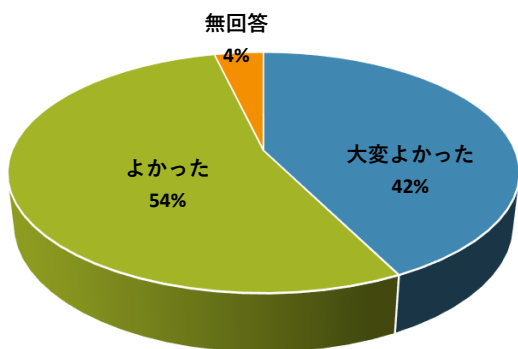
VIII パネルディスカッションについて



▼よかった理由

- ・ 色々な話を聞いて良かった。色々な所で協力し合うことが大事な事、連携し合う事の必要性が理解できたから。
- ・ 各職種の立場からの生の意見の中、どうしたらその子らしく育っていけるかという共通の目標があると感じられた。
- ・ 市町の各機関との連携など体制整備の必要性が分かった。
- ・ 保護者の方の意見・思いを聞くことが出来、気持ち伝わったが自園でできるのかとの不安もぬぐいきれなかった。
- ・ それぞれの実情、本音が聞いて良かったです。
- ・ 園の立場、親の立場、行政の立場それぞれの思いを知ることが出来た。
- ・ なかなか実際受入れている他の施設の状況をお聞きすることがなかったもので、事例を聞くことが出来良かったです。
- ・ 保護者の声や沢山の事例を聞くことが出来て良かった。
- ・ 保護者の話が参考になった。社会全体で支え合わなければと思っ
- ・ パネリストに様々な立場の方がいたので聞きやすかった。進行の質問内容も興味・関心があるものだった。
- ・ パネリストが多く、一人一人からの発言がもう少し長く聴く時間があればなお良かったと思います。
- ・ 地域の学校へ通学する際の苦勞がとてもよくわかりました。ご家族とお子さんが安心して望む教育保育を受けれるよう行政にはもっと柔軟に支援していただきたいと強く思いました。
- ・ 保護者の気持ちが理解できた。行政の力のなさを改めて感じた。
- ・ 自治体からの意見が聞けたが補助金に関しての具体的な結果には至っていない。
- ・ ○○VSO○のような形式が多いようで課題に対して建設的ではなかったかな。
- ・ 広域入所についてそれぞれ丸投げで笑いました（苦笑の方です）。

IX フォーラム全体



▼よかった理由

- ・ 行政の参加
- ・ 医ケア児、保育園・小学校についてもっと理解できた。
- ・ 受入側の課題、預ける側の思いが聞いて参考になった。
- ・ 問題意識の共有ができた。
- ・ 保育園の中での様子を見ることが出来た事や現状を知ることができた。
- ・ 初めて医ケア児関係のフォーラムに参加し、知らなかった現状に触れることが出来た。
- ・ 市内の事業者と一緒に参加したい。

X フォーラムの中で、最も参考になった、関心があった項目

- ・ 基調講演
- ・ 受入事例紹介
- ・ パネルディスカッション
- ・ 保護者からのご意見
- ・ 全て
- ・ にじいろ保育園事例
- ・ 五所川原市の医ケア児受け入れへの対応
- ・ 保育園の医療的ケア児の受け入れについて
- ・ 広域入所になった場合の各自治体の負担割合。
- ・ 広域入所についての課題
- ・ 基調講演・パネルディスカッションで現況と現場の声を聞いた。
- ・ 制度の隙間、助成金をもっとあれば。
- ・ 学校教育と医療的ケア児について（特支ではなく地域への進学）、保育園で働く看護師について、離職しないためには。
- ・ 現状と課題がよくわかった。

- ・ 医療的ケア児の保育の重要性を保育関係者に理解していただける内容だったと思う。「受入が難しい」けど「どうやったら受入れられるだろう？」とのにじいろ保育園園長の考え方に共感！！
- ・ 就学前と就学後の在籍機関における生活リズムの重要性（移行支援）
- ・ 父親の話・思いと行政のいいわけ
- ・ 行政の壁！！
- ・ 保育施設や就学までの受け入れ迄の流れ、受入れまでの準備について
- ・ 医療的ケア児は県内にどれくらい的人数がいて実際にはどのようにしているのか
- ・ 実際に医ケア児を受け入れている園の状況・一日の流れ、事例等
- ・ 就学に向けて早めに動きださなければならないということが再確認できたので担当のケースも早めに動きだそうと思いました。
- ・ 保護者の生の声、エピソード
- ・ 保育園への看護師の配置、職員への理解方法
- ・ 全ての先生のお話が参考になりました。こども園あらや齋藤先生～補助金など行政に係る課題と施設に看護師1名で十分なのか！と個人的に疑問であったため現状を知ることができました。ありがとうございました。

XI 希望するテーマや内容

- ・ 第2報的な
- ・ 病後児・病児・医療的ケア児受け入れにあたり、環境的に必要なこと・物は何か具体的に知りたい。
- ・ 災害時の対策についてどこまで進んでいるのか情報共有したい。
- ・ 保育園等での具体的な支援。
- ・ 受入れた際の大変だと感じた事などを聞いてみたい。
- ・ 同様の内容で保育施設対象・圏域ごとの実施だと参加しやすい。
- ・ 補助金について。
- ・ 就学をテーマにしてほしい。
- ・ 事例紹介・実際受入→卒園・就学支援の紹介
- ・ 各市町村での医療的ケア児保育支援事業の現状
- ・ 実際の現場の声（看護師・保育士）を県内の保育施設に伝える場づくり。医ケア児との関わり方を広める機会や内容。
- ・ 教育関係者向けに理解を得る事を目指してはどうか。
- ・ パネルディスカッションでも出ていた就学に向けてと言うところはやはり課題が多いと思っています。
- ・ 保育園による看護師等の人材確保について、登園方法。
- ・ 医ケア児コーディネーターさんの役割について課題があれば聞きたいです。行政に対する希望・要望があれば聞きたいです。

XII ご意見・ご感想

- ・ Zoomによる開催を希望。
- ・ 医ケア児教育フォーラムも是非！小・中学校の先生たちにももっとご理解いただきたいです。
- ・ 看護師を配置している学校等がとてもしないのは問題だと思うし、なぜなのかなあと思う。
- ・ 勉強になりました。看護師のセンター集約による巡回・派遣のようなことはできないでしょうか。システムとして、地域でもっと医ケア児を受け入れる保育園が増えてきて欲しいです。貴重な体験を聞くことができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 実際の受け入れの事例を知ることで、園で受け入れる事になった場合のやらなければならない事が明確になったのでとても参考になりました。
- ・ 不安の方が強いが色々な方の力を借りれることも知り園に持ち帰って今後に向けて進めてみようと思えた。
- ・ 施設での医ケア児の受け入れ体制を整えた際には、実際には受入れがなかったとしても県独自にでも補助できる制度があれば、市町村・園でも進めやすいのでは。
- ・ 保護者の高橋さんの「皆で協力し合って作り上げていければ」の言葉は心に響きました。
- ・ 実際に業務にあたっている看護師・保育士の不安・やりがいなどもっと聞いてみたいと感じました。
- ・ こども園あらやさんの園長先生の話がスーッと入ってきて（やはり病児と一緒にするのは難しいかなあ・・・等）参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 青森市子育て支援課は、給付担当でなくて入所担当の方が来るべきだと思います。
- ・ 1型DMの子の入園・入学で受入れが消極的で苦労したという事例があります。気管切開・胃瘻等に比べ症例が少ないかもしれませんが対応してほしいと思いました。
- ・ 今後さらに知識を深めみんなで繋がっていけたらと思いました。
- ・ 1つの事例がどのように複数機関と連携しているか、その1事例について検討を深めてみてはどうだろうか。東青・三八・中南等で開催し、それぞれの地域性や問題点について市町村や県がどのように取り組むか参考とする。勝手な事ばかり書きましてすみませんでした。スタッフの皆様ご苦労さまでした。
- ・ 医療的ケア児の現状を知ることができました。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。
- ・ すごく心に響くフォーラムでした。同じ親として医ケア児保育が全域に広がって欲しいと強く感じました。
- ・ フォーラム動画のアーカイブ化はぜひお願いしたいです。今回参加できなかった事業者へ共有したいと思います。
- ・ ディスカッションに県担当者も含めてほしい

- ・ 「事例がなかったからお断りする」ことが今後内容可能な範囲で備えていきたい。
- ・ 医ケア児に対する取り組みや現状を知ることが出来、大変勉強になりました。地域の保育・看護・市政に反映させていただきます。ありがとうございました。

